

日時・会場・参加者	質問・意見など
10/20 (月) 岩国市民文化会館 50人以上	<ul style="list-style-type: none"> ●（岩国は説明会の一発目ということもあり）説明会の案内が十分に知らされていない。 ●なぜ説明会の時間が1時間しかないのか？しっかり聞くといいながら、やっただけの説明会やパブコメ実施では困る。 ●「1学年4～8学級・1クラス原則40人」の根拠は？学校は地域にとっての宝であり「生徒がいらないから学校をつぶす」では、山口県は衰退する。県教委の考える学校規模はなぜ変わらない？切磋琢磨すると言うが、それができない子どももいる。不登校や自殺も増えている。すべての子どもたちのためにも、少人数学級の実現を。選択肢を減らさないでほしい。 ●定時制を残す意味は？夜間部を残さず、午前部を入れる意味は？校舎は教室が少ないなど、施設が整っていない。 ●地域の学校や子ども、保護者の意見も聞いてほしい。 ●説明会でのやり取りをオープンにしてほしい。 ●人口減で再編統合と言うが、これは県教委だけのことではない。
10/22 (水) 山陽小野田市民館 30人程度	<ul style="list-style-type: none"> ●宇部地区の定時制募集停止は5校が2校となり、第2期で完了と考えていた。工業は小野田工業のみ。双葉の工業もなくなり、下関・宇部では工業がなくなる。不登校など特別なニーズを持つ生徒の割合が全日制よりも多い。定時制は少人数で生徒の学びの再出発の場。少人数できめ細やかな支援を公教育の中でどう行っていくかが問われている。適正規模は発達の面から根拠ない。 ●西市から来た。田部もなくなる中、分校がなくなると通えなくなる。人数が減ったというが矛盾を感じる。 ●科目選択が増えるのは普通科ならその通りかもしれないが、職業校については3学級で充分。学校行事や部活動も3学級以下ではダメというのは疑問がある。 ●下関西と下関南の統合により、学力の高い生徒以外の他の生徒が行く場が不安。個々の学校の良いところを残すべき。もう少しきめ細やかな考え方がほしい。移住者にとってもどうか。 ●地域からの人口流出につながり、地域から学校をなくさないでほしい。大規模拠点校をつくるというが、遠くから通う生徒の負担は大きい。この地域に住めるのかという不安にもつながる。県教委の示す「適正規模」はこじつけに感じる。学校数を維持しながら、活力ある学校をつくることは考えられないのか？人口減少は政策の結果。田部や宇部西がなくなった結果を検証すべき。このままでは本当に学校がなくなる。 ●中学から県外へ流出している。県外から来ている人はいるのか？学力低下に対してどういう方針を持っているのか？ ●子どもが通学困難で子育て世代に魅力がない。県外流出に拍車がかかる。自分が済んでいる地域で探究を深めることがまっとうな探究学習。 ●この説明会で意見を聴いて素案、結果が変わることがある
10/24 (金) 下関市民館 40人程度	<ul style="list-style-type: none"> ●再編統合ありきの説明。学校行事・部活動の活性化のためとの簡単な説明だが、高校は何をしに行くところなのか、学力を身に付け、人格の完成を目指すのではないか。40人学級を続けていることの方が問題。フィンランドでは13～20人学級が当たり前。望ましい学校規模が4学級～8学級はあいまい。特色をつぶす統合であり、統合ありきの説明に納得がいかない。 ●小学卒業生よりも中学入学生が減っており、九州に流れている。下関西に附属中ができるが、山口県では少人数で手厚い教育が受けられる、教育県やまぐちという姿勢が重要では。学校に行き辛い生徒もいる。 ●中教審の小規模校の意義の視点を踏まえていない。最終的な取りまとめの手順は？前期の総括は？ ●生徒数が減ることを前提にしているのか？増やそうとしないのか？安心して子どもを産むことができ、安心して個に応じた教育が受けられる、その発想がないのが残念。 ●下関西は、附属ができ、さらに統合するという点で、統合は早すぎではないか。 ●豊浦、下関南では、前年度定員が割れてもそのままの定員であった。中学卒業生数の数は減っているのに。県教委の数値は嘘だ。1学級40人で不応に苦しみ、生徒が大変。不登校も増えている。 ●県教委のアンケートの対象・規模は？ ●3人の子ども。一人は少人数で丁寧な指導の下、高校に行くことができた。もう一人は大規模校に部活で進学した。しかし、心を病む生徒も多かった。もう一人は教師をめざしているが、山口に戻ってきたいと思える学校づくりを。小規模、大規模、どちらにもいい点がある。 ●参加者が少なく、この説明会をほとんど知らない保護者も多いのでは。この素案に対してこれでいいという意見はほとんどない。どう反映、公表するのか？この説明会はこうであったということを公表するのか？30人、25人学級であればどれだけ生徒も教員も助かることか。働きやすい環境にしなければ教員になろうという人もいなくなる。 ●どういう意見が説明会ででたのか公にするのは当たり前。そうでなければ意味がない。
10/27 (月) 萩市民館 30人前後	<ul style="list-style-type: none"> ○●県立高校としての特色を作らないと、どんどん私立に取られていく。遠距離通学の支援として公共交通機関にもはたらきかけると言うが、もう少し県が主体的に動いてもいいのでは？（県でバスを出すと） ○●萩商工の周辺は道路が拡張している。萩商工が校地の方が良いのでは？ ●大津緑洋のようにキャンパス制ですればよいのでは？ ●2029年度中に本当に工業などの実習棟は建つのか？普通科も建て直し？でもあと4年しかないけど... ●奈古は過去からずっと、阿武町出身の入学者よりも萩市からの入学者が多い。募集停止の基準を阿武町の卒業生の数だけで決めないでほしい。 ●萩から山陽側に行く生徒は多いが、逆に山陰側に来る生徒が増えるような学校づくりを進めてほしい。

10/29 (水) 山口南総合センター 17人	<ul style="list-style-type: none"> ●未来デザイン科の設置で、就職率を高めると説明があったが、山口県は全国で進学率が最も低い。進学が少ないから『現状追認型』ですすめようとしている。世の中が変化していく中、AIなどに負けない高い能力を持つ人材を育てる必要がある。進学率を上げる方向では考えないのか？●山口中央の「教職コース」は大学の教育学部と何が違うのか？●全県で14校→7校とのことだが、遠くなると通学にも時間がかかる。子どもたちの貴重な時間を奪うことにつながる。●統合すると「特色ある」とは逆の方向になるのでは？●地域との関係性が大切。学校は地域の活力にもなる。第3の発想はないのか？
10/31 (金) 周南市学び・交流プラザ 42人	<ul style="list-style-type: none"> ●普通科と工業科は進路決定の時期も異なり、学校行事等の時期が難しくなる。統合にはリスクがあるのでは。●40人学級を維持するとしているが、人数が多いことが不登校を助長しないか●新南陽は4学級で再編の対象ではないのでは？●南陽工の実習棟はかなり老朽化しているが、施設設備は新しくする予定があるのか●統合後の学級数はいくつになるのか
11/4 (火) 阿武町町民センター 30人程度	<ul style="list-style-type: none"> ●「地元中学の卒業生が入学しないと廃校にする」という雰囲気がある●将来をみての素案のようだが、少子化を逆転させようという考えはないのか●同窓会への説明はあったのか●萩商工は比較的新しいが、校地は萩高で確定か？キャンパス制はしないのか●小規模校だからこそ生徒が成長できている。地元就職する生徒も多い。子どもを地域で支えることを実践している●集団で学ぶ意義もあるが、40人ではついていけない生徒もいる●通学支援について、経済的負担の支援は強く要望したい
11/5 (水) 宇部市福祉ふれあいセンター 20人	<ul style="list-style-type: none"> ●適正規模で質を確保と言っているが、量と質は別問題。規模が小さくても質のいい教育はできる。教育委員会は理念に対して議論しているのか●学校を大きくして、何か成果があったのか●通学について、公共交通機関に投げかけていると言うが、増便はあったのか？「行きたい学校」ではなく「行ける学校」しか残らない●遠距離通学は生活を壊す。充実した生活のためには家庭生活があって学校生活が成り立つ●学校数が減れば通学時間も増す。憲法が保障する「等しく教育を受ける権利」がどのくらい保障されるのか、あるいは保障しようとしているのかである。●子どもたちが行きたい学校を選べる状態になると思っているのか？●人が流れれば経済も流れる。小野田から学校がなくなることで、人口流出を加速させ地域経済の停滞を招く。地域社会の活力が失われることによる深刻な影響をこの計画では全く考慮されていない●教育の充実や活性化が、大規模校でしか育まれないということはない。生徒が求める選択幅の広さは、学校の内部で提供するものではなく多様な特色をもつ学校を生徒が選択できるように整備することが必要●少子化の根本的な原因は国政や県政、市政にあるのではないのか。その影響を地域住民に負わせた挙句に学校が減らされている●今までの統廃合は成功なのか？なぜ計画を出してから説明会なのか
11/6 (木) ほしらんどくだまつ	<ul style="list-style-type: none"> ●2つの高校の合格ラインが異なるが、どうなるのか●下松市は出生率が高く児童生徒が多く地域に根ざした学校。地域の特色をかすべき●地域でコミスクに熱心に取り組んでいる。広域になり地域連携に不安●校地が下松高になる理由は？●校地にならない学校の生徒は後輩がいない。対策は？●岩国で中高一貫校、下松ではできないのか●統合後に魅力ある学校はできるのか？●私学無償化で私学に生徒が流れる。私学の状況をどうとらえているのか●施設の拡充は検討しているのか●こどもを増やすことを県教委は検討していない。地域連携教育で山口に住みたいと思えるこどもを増やすべき
11/10 (月) サンライフ防府 13名	<ul style="list-style-type: none"> ●原則40人の根拠をどう考えているのか。不登校の生徒が増えているもとで40人は多いのではない●なぜあえて統廃合を推し進めるのか。なぜ維持できないのか。すべて小規模になってはいけないというが、不登校はすべての学校で起こりうる。1学級の生徒が減れば、関わりも良くなっていく●「人材育成」の体制ばかりつくっており、人間として育ていく教育こそ考えるべき●子どもが二人いる。一人は小規模校で体験から学ぶ教育であった。小規模校の良さを考慮してほしい●公共交通機関の利用者数が減るのではないのか。中学から地域密着型でやってきた中、地域とともに学校をつくってきた●少子化で統合は仕方がないかもしれないが、市単位で寮制度などができないか。通学費の負担（費用・時間）も生まれる●防府西が総合学科でなくなると光高校以外に総合学科がなくなるのではないのか●教育の活性化が目的というが、財政効率が目的ではないのか●県教委の答弁を聞くと、意見は聞くが、計画はこのまま進めますと言うように聞こえる。少人数学級を求める意見もあったが聞いたのみになるのではな

<p>11/12 (水) 長府東公民館 26名</p>	<p>●学校数が減ることによって教員はどのくらい減るのか●学校が減って選択肢が減ることに関して、県の見解は？●県内企業への影響をどう考えるのか？県内企業の多くは生徒を欲している●設置する学科はどういう形で発表されるのか、部活はどうなるのかなど、中学生へどう説明するのか●教育委員会だけで話をしたのか？自治体とは話をしたのか？●規模を大きくすると遠距離通学が増えるのでは？●「質の高い」の『質』が見えない●各学校には歴史もあるのに、性急な決定ではないか●「子どもが減るから」ではなく、不登校やひきこもりの問題が先なのは●地元から子どもの声が聞こえなくなると地域も廃れる。もっと県民や市民、住民のためにやるべき。県教委に「任せられる」という安心感がない。伝わってくるものがない●寮の設置は考えないのか●もっと平等な高校づくりをしてほしい「望ましい学校規模」は、どのような立場で言っているのか●山口中央の教職コースだが、中2や中3の生徒が決めるというイメージ</p>
<p>11/14 (金) 柳井市文化福祉会館 15人</p>	<p>●子どもたちが自転車で通える学校が減る。「選択の幅を広く」というのなら、1クラス25人とかにすればよいのでは？この計画は本当に子どもたちのことを考えているのか●適正規模にこだわっているが、現在3学級の学校から不具合がでているのか？公共交通が貧弱な山口県だが、街づくりの観点が全くない。地域と一緒に考える気心がない●高校段階で山口県から他県に進学するが、山口県は他県からの受験を受け入れていない。子どもの数が少なくなるからつぶしていくという姿勢を改めていただきたい。街づくりの観点・適正規模が3クラスではなぜ悪いのか教えてほしい。県と知事部で相対的な議論をしているのか？将来のビジョンを聞かせてほしい●「山口県公共施設等マネジメント方針」に基づいているのでは？まさに学校を減らすと書いてあるがどうなのか？県の財政負担を減らすためじゃないのか●県が責任を持って通学バス等を運行するべき●山口中央の教職コースを希望しても周防大島から通うことは現実的に無理。寮の設置は今回の計画に含まれているのか●県教委は「もう決めたんだ」という姿勢。なぜ華陵が30年で廃校なのか。華陵は地域と一体になった取り組みをしている。末武中は県下1のマンモス校。出生率も下松は県内トップ。なぜ新しい学校を廃校にするのか●今、小学生の子どもがいる。周りの保護者は説明会が開催されるということを知らない人が多い。議員やPTA役員などアンテナを張っていた人しかきていないのでは？県民に対する説明が全く丁寧ではない。対象が小学生なら全ての小学校を回って説明するべき。平日の夕方に開催されても小さな子どもがいる家庭では参加できない</p>
<p>11/17 (月) 美祢市民会館 15名</p>	<p>●県の実施計画は、あまりにも唐突で評判が悪い●これまでの地域に根ざした学校からの方向転換か。コミュニティースクールは止めるのか。なぜ4学級以上でないと効果的な教育ができないのか●県教委は切磋琢磨と言うが、過剰な競争で不登校になる生徒が出る懸念がある●地域はますます衰退する。進学伝統校優遇が露骨。進学する生徒は県外に流出し県の人口減に拍車がかかる。(宇部西高校の卒業生は多くが県内に残っていたのに...)●県の回答がすべて数字あわせに終始している●未来デザイン科とは何？「普通科」ではいけないのか。進学と就職の両面サポートの強化と言うが、いまでも一生懸命対応しているのではないのか●未来デザイン科では、具体的に何をしようとしているのか(県は回答不能)●よくわからない科やコースでこれまでも失敗を繰り返しているのではないのか●安易に学科名を変えることでは、住民にはマイナスのイメージしか伝わらない●交通の利便性については、通学が可能になるように「働きかける」と言うが、民間の公共交通機関が儲け度外視でやることはない(青嶺高校と美祢高校の統合で実証済み)●校地の選定理由は何か</p>
<p>11/19 (水) 光市総合福祉センターあいぱーく 14名</p>	<p>●新しくできる学校の名前はいつ、どのタイミングで決まるのか●今回の素案では多くの地域で学校がなくなる。各地域の市長や教育委員会には事前に意見を聞いているのか？どのような反応があったのか●華陵の卒業生だが、学校がなくなることはとても寂しい。地域の理解を得て(統廃合を)すすめていると言われたことには疑問が残る●自分は保育士をしているが、一人ひとりに合わせた保育で質を高めることやきめ細やかな対応が求められている。それは高校生になれば、不要なのか？40人学級、学級数の確保と言われるが、小規模ではだめな理由は何か●小・中学生も参加できる会と書いてあるが...これまでの説明会で何人の小学生・中学生が参加したのか？難しい言葉で説明されているが、参加した小学生らが理解できているのか●(該当校の教員)統廃合のニュースが出た翌日、生徒にどう説明しようかと悩んだ。県教委には「学校がなくなる」という言い方はしないほしい●説明の中で県教委は「定員割れをしている」と言っていたが、少子化がわかっているのなら、そもそもの募集定員を減らすという議論はなかったのか？子どもが減っているのに昔のままの募集定員では割れるのが当たり前ではないか。各地で説明会をされてきて、小規模校の良さを訴える声はたくさんあったはず●いろいろな意見が出されているが、この出された意見はどのように反映されるのか●学校規模が「小さいからいやだ」という声、「小さくても残してほしい」という声はどれくらいあるのか？多ければ残せるのか●説明資料の中に「人材を育成する」と書かれているが、学校は人材を育成するところなのか？人格を醸成するということではないのか</p>

11/21（金） 長門市中央交流プラザ 5名	●説明会で出た意見や要望で、重複するものについては再考すべき。おうでなければ理由が必要ではないか？これまでの説明会では「小規模校の意義」とか「通学の問題」などが出ている ●通学については補助すると言われたが、そもそも公共交通機関の利用者が少ない場合、企業もお金を出したところで増やさないでしょ●適正規模に関わる質問や意見が多くの説明会で出て「なぜ1学年4～8学級・1学級40人が適正規模なのか」との質問に対して「切磋琢磨できる環境づくりを」と県教委は回答している。今回の計画は『素案』だから変わる、と言っているが、素案だから変わると言いつつどの説明会でもこの『適正規模』の説明を頑なに変えない理由はあるのか●『山口県公共施設等マネジメント基本方針』が平成27年の3月に策定されている。この基本方針と県立高校再編整備計画は関連しているのか？関連はないのか？●未来デザイン科の設置がR.10とR.11で異なる理由はあるのか